

第6回南部圏域の地域包括を考える会（なんケアの会）を開催しました

開催日時：平成28年12月13日（火）18:00～19:05

会場：南部市民センター なんびあ

参加人数：69名

メインテーマ：「生き生き」と暮らすために～一歩進んだ地域リハビリ～

サブテーマ：「リハビリテーションよもやま話

～興味は身近なところから～」



12月13日（火）18:00から南部市民センターなんびあで、公開講演会が開催されました。今回は「リハビリテーション」について、リハビリテーション専門医である当院診療部長の三浦忠俊先生よりご講演をいただきました。地域の方も合わせ、地域包括支援センター、介護支援事業所関係、医療機関関係者、調剤薬局等、70名ちかくの参加がありました。

講演では、身近な力学と運動学、杖の効用（なぜ杖をついて歩いた方が良いのか？）、筋力低下と筋萎縮との関係等について詳しくお話していただきました。また、講演終了後の質疑応答では、参加した方からの質問をもとに日常生活でできる筋力低下を防止できる運動等を詳しく教えていただきました。実践に活かせるお話を聞くことができ、とても有意義な講演会でした。

次回からはメインテーマを「パーキンソン病とうまく付き合うために」とし、勉強会を予定しています。引き続き、地域連携の一環として地域の施設や在宅ケアに携わる方が気軽に参加でき、実践に役立つ研修会にできるよう尽力してまいりますので、ご指導ご支援頂きますようお願い致します。



会場の様子



参加者の皆様からの声

とても熱心な講演ありがとうございました。
大変興味深く聞かせていただきました。

杖の効果がよく理解できました。「杖を使うことによって負担が1/3になる」という事を知って、患者様への説明に加えてみます。

現場で必要と思われることを患者様に理解して頂き、実行してもらいたいが、なぜ必要なのかが説明できず困ることがあります。
杖の必要性についてよくわかったのでこれからの仕事に活かしていきたいです。